

平成29年度第9回安城市地域ケア推進会議

日時 平成29年12月21日(木)
午後1時30分～午後3時
場所 社会福社会館 3階 会議室

1 会長あいさつ

2 議題

- (1) 在宅医療・介護連携推進のための研修会実施報告(資料1)
・歯科医師会部会
- (2) 高齢者の住まいについて(資料2)
- (3) 認知症高齢者検索・声かけ模擬訓練の実施状況と認知症施策への取り組み状況について
(資料3)
- (4) あんジョイプラン8について(資料4)

連絡事項

【在宅医療・介護連携推進のための多職種ワークショップ研修会】

テーマ： 病診連携及び退院カンファレンスに関する研修会(講演及びグループワーク)

日時：平成30年1月13日(土) 午後2時から

場所：八千代病院 大会議室

講師：永井 知直実 氏(在宅医療サポートセンター)

松本 佳代 氏(八千代病院看護副部長 兼 患者支援センター副センター長)

岡本 雅彦 氏(安城市医師会)

ファシリテーター：清水 誠司 氏(安城市医師会)

【在宅医療・介護連携推進のための研修会】

テーマ：うつ病等精神疾患の人とのかかわり方と疾患の基礎知識

日時：平成30年1月26日(金) 午後1時

場所：安城市民会館 視聴覚室

講師：みつわクリニック医師



次回 平成30年1月18日(木) 午後1時30分～午後2時30分 社会福社会館3階 会議室

10月19日 在宅医療・介護連携推進のための研修会 アンケート結果

テーマ: 口腔ケアの実際

講師: 板倉直美氏、中根尚美氏(公益社団法人愛知県歯科衛生士会三河南部支部)

※研修会の参加者 36 名 アンケート回収 34 名(回収率94.4%)

1. 職種

職種No	職種	人数
1	医師	0
2	歯科医師	1
3	薬剤師	0
4	看護師	7
5	保健師	1
6	理学療法士	1
7	作業療法士	0
8	言語聴覚士	0
9	栄養士	0
10	歯科衛生士	0
11	MSW	0
12	ケアマネジャー	12
13	社会福祉士	0
14	介護福祉士	11
15	ヘルパー	1
16	その他	0
0	不明	0
合計		34

2. 所属

所属No	所属	人数
1	病院	1
2	診療所	3
3	薬局	0
4	訪問看護ステーション	4
5	老人保健施設	3
6	特別養護老人ホーム	0
7	有料老人ホーム等	0
8	居宅介護支援事業所	10
9	地域包括支援センター	3
10	社会福祉協議会	1
11	介護サービス事業者等	7
12	その他	2
0	不明	0
合計		34

3. 研修の反応

(1) わかりやすさ	人数	
1	わかりやすい	32
2	まあまあわかりやすい	2
3	どちらでもない	0
4	あまりよく分からない	0
5	全く分からない	0
0	不明	0
合計		34

(3) 今後に活かせるか	人数	
1	活かせる	27
2	部分的に活かせる	7
3	どちらでもない	0
4	あまり活かせない	0
5	全く活かせない	0
0	不明	0
合計		34

(2) 満足度	人数	
1	満足	23
2	まあ満足	9
3	どちらでもない	0
4	やや不満	1
5	不満	0
0	不明	1
合計		34

4. 今後、企画してほしい研修など

- ・ 吸引器使ったみがき方
- ・ 口腔ケアを通して口腔内の老化がわかるサインやそれに対する方法についてや考えられるリスクについて。
- ・ 口腔、えん下体操の実習
- ・ 入浴の仕方、注意がけ
- ・ リハビリテーションについて
- ・ レクリエーションの研修等行ってほしい。

5. ご意見・ご感想等

- ・ 介護されるのは初めてだったため、患者の気持ちがよく分かった。相手の気持ちも考えて、本日ならった口腔ケアを行っていきたい。ありがとうございました。
- ・ 実際にできてとてもよかった。総合事業サービスCを担当しているので今後の指導に大変役立ちました。
- ・ 歯(口腔内)の大切さは見すごされがちだが、ぜひ又研修会をひらいてほしい。
- ・ 汚れも付いて、わかりやすかったです。
- ・ とてもわかりやすく、実際に利用者、術者を体験できてよかったです。現場で活かします。
- ・ わかりやすい説明で施設でもいかしていきたいと思います。
- ・ 口腔機能の訓練についてなど、今後の業務の参考になると思った。
- ・ 自分の口の中をみられるのはとても恥ずかしいが、自分の口の中の実習が良かったかと思います。相手の気持ちや、口腔ケアの力の入れ加減など、自分自身に勉強になることがあると思いました。
- ・ 大変わかりやすかったです。まずは自分の歯みがきから見直してキレイにみがけるように頑張ります。
- ・ 新人介護士でありますので、重要なポイント、日常で使いやすい口腔体操などを知ることができて良かったです。
- ・ わかりやすい講義をありがとうございました。
- ・ 実践できて良かったが少し時間が早く分りにくいこともあったのでもう少しゆっくり実践できると良いと思った。
- ・ 介護する側、される側の気持ちを改めて知る事ができました。ありがとうございました。
- ・ 口腔ケアの実習は初めてでしたがとてもわかりやすく利用者さんの気持ちを実感できました。
- ・ 歯のよごれを取るのは難しかった。

安城市地域ケア推進会議（住まいについての勉強会）

公益社団法人 愛知県宅地建物取引業協会碧海支部安城ブロック支部幹事
（有）不動産総合サービス代表取締役 増田 昌二

- 1 宅建とは（宅地建物取引士、宅地建物取引業など）
- 2 賃貸住宅入居時・退去時の一般常識と注意事項
 - (1) 敷金・礼金について
 - (2) 家主から退去を求められる場合は、どれぐらい前に通達があるのか（必要なのか）
 - (3) 退去時の原状回復はどこまで求められるのか（借りた側が負うもの、家主が負うもの）
 - (4) 介護保険「住宅改修」と退去時の原状回復との兼ね合いは
- 3 高齢者等を取り巻く賃貸住宅事情

平29年度各地区認知症徘徊高齢者搜索・声掛け模擬訓練予定

資料3-1

地区	日時	開催場所	参加者人数	参加者・団体	内容	スタッフの配置	周知方法
東山	9月3日(日) 午前10時から午後2時30分	北部福祉センターまつり	102人	北部福祉センターまつり来場者	1 搜索対象者(1名分)を渡し、まつり開催会場で探してもらう 2 発見したら付き添い者にチェックをしてもらう(搜索対象者チラシにチェック欄あり) 3 受付に戻りどこで発見したか等報告 4 アンケート、参加賞受け取り	高齢者2名 (さとまちスタッフ) 高齢者付き添い2名 (さとまちスタッフ) 準備・進行 (包括、地区社協、市)	回覧チラシ、地区民協にて参加呼びかけ
東山②	平成30年2月18日(日)午前9時から正午	老健さとまち			1 認知症サポーター養成講座 2 声掛け訓練 3 アンケート、参加賞受け取り		
安城北	8月18日(金) 午前10時30分から	コープ野村新南城	33人	コープ野村新南城おしゃべりサロン	1 認知症についての講話 2 認知症役と声掛け役に別れてロールプレイ 3 見つかるつながるネットワーク、安心安全メールにつて 4 アンケート、参加賞受け取り	受付(福祉委員会) 準備・進行 (包括、地区社協、市) 講師(吉崎氏) 声掛け訓練(スタッフ全員)	福祉委員会からの周知(ちらしの配付・ポスター掲示)
篠目	11月12日(日) 午後1時から午後3時	二本木公民館子どもまつり	子ども 72人 大人 18人	二本木公民館まつり来場者	1 搜索対象者チラシとスタンプカードを渡し、館内で探してもらう 2 発見したら付き添いボランティアにスタンプを押してもらう 3 受付に戻りどこで発見したか等報告 4 アンケート、参加賞受け取り	受付 4名 (八千代包括1、認知症初期集中支援チーム2、市1) 高齢者 3名 (八千代包括1、住民2) 付き添い 3名 (地区社協2)	二本木公民館まつりチラシ・ポスター内に掲載
安城南	11月28(火) 午後1時30分から午後3時	横山南子ども公園	徘徊訓練 18人	10月13日に認知症サポーター養成講座を開催し、受講された人	1 声掛けのポイント説明 2 声掛け訓練 3 シールを読み取り通報訓練 4 市へ通報訓練	受付2名 (包括2) 高齢者3名 (包括3) 付き添い3名 (地区社協・市) 準備・進行(包括)	町内回覧 福祉委員会
安祥	8月12日(土) 午後5時から午後7時 (受付終了午後6時30分)	古井町子ども夏祭り会場	82人	古井町子ども夏祭り来場者	1 会場で祭りの来場者に訓練参加を呼びかける。 2 参加者は場内にいる3名の模擬高齢者を探し、声をかけ、カードを受け取る。 3 カード3枚を集めた参加者は受付でアンケートに回答し、参加賞をうけとる。	受付4名 (包括、地区社協、市) 模擬高齢者3名(住民) 付き添い3名(包括、地区社)	町内会、福祉委員会から周知
安城西①	4月19日(水) 午前10時から午前11時30分	三河安城まちなかマルシェ	28人	三河安城まちなかマルシェ来場者	1 搜索対象者(1名分)を渡し、マルシェ開催会場で探してもらう 2 発見したら付き添い者にチェックをしてもらう(搜索対象者チラシにチェック欄あり) 3 受付に戻りどこで発見したか等報告 4 アンケート、参加賞受け取り	受付 3名 (市1、包括1、住民1) 高齢者 3名 (包括1、住民2) 付き添い 3名 (包括1、地区社1)	マルシェチラシ あんのんだより 臨時版 地区社協だより
安城西②	11月26日(日) 午前10時から正午	西部福祉センターまつりのコーナー	80人	西部福祉センターまつり来場者	1 搜索対象者(3名中2名)を渡し、福祉センターの会場で探してもらう 2 発見したら付き添い者もしくは高齢者役本人にチェックをしてもらう(搜索対象者チラシにチェック欄あり) 3 受付に戻りどこで発見したか等報告 4 見つかるつながるの説明を受け、アンケート、参加賞受け取り	受付 3名 (市1、包括1) 高齢者 3名 (包括2、住民1) 付き添い 1名 (市1→住民の高齢者役のみ)	地域まつりちらし あんのんだより ネットワーク会議でチラシ配布
明祥	9月4日(月) 午前10時から午前11時	丈山苑遊歩道	28人	和泉老人クラブ(きらめきクラブ)役員	1 老人クラブ役員定例会後、和泉町公民館にて説明を受け丈山苑に移動 2 3グループに分かれ、認知症高齢者役に順に声かけ 3 付き添い役が参加者の声かけをフォローする 4 見つかるつながるネットワークの説明 5 アンケート記入、景品受け取り	受付1名 (地区社協) 高齢者3名 (包括、市) 付き添い(包括)	きらめきクラブ役員定例会にて参加呼びかけ・協力依頼
桜井	平成30年2月10日(土) 午前中	アピタ安城南店 2階エスカレーター前	100人程度	アピタ買い物客	企画中	受付3名() 高齢者3名() 付き添い3名() 店員役() 制度説明() アンケート回収等() クイズコーナー等()	福祉委員会 地区社協だより さくらんぼネット (桜井地区の専門職と地域の方と行う地域ケア地区会議)

安城市の認知症施策①

資料3-2

安城市の認知症施策について

安城市高齢福祉課地域支援係



1

新オレンジプラン 7つの柱	安城市の取り組み・資源等
1 認知症への理解を深めるための普及・啓発の推進	<ul style="list-style-type: none"> ●認知症サポーター養成講座 ●認知症サポーターステップアップ講座 ●認知症を知る講演会
2 認知症の容態に応じた適時・適切な医療・介護等の提供	<ul style="list-style-type: none"> ●認知症サポート医 7名(平成28年度末) ●認知症疾患医療センター(八千代病院内) ●認知症初期集中支援チーム(八千代病院愛知県認知症疾患医療センター内) ●認知症ガイドブック(認知症ケアパス)「笑顔で安心認知症ガイドブック」 ●認知症地域支援推進員(高齢福祉課に1名)

2

安城市の認知症施策②

安城市の認知症施策③

新オレンジプラン 7つの柱	安城市の取り組み・資源等
3 若年性認知症施策の強化	<ul style="list-style-type: none"> ●ホームページにリンク先を掲載 若年性認知症コールセンター 若年性認知症ハンドブック ●桜井地区社協の福祉講演会 若年性認知症本人の視点からの講演会
4 認知症の人の介護者への支援	<ul style="list-style-type: none"> ●認知症介護者交流会 八千代病院愛知県認知症疾患医療センターで開催 ●介護者のつどい 市内福祉センターで開催(地区社協主催) ●認知症カフェ 市内6か所で開催(主体は様々) ●GPSの貸し出し

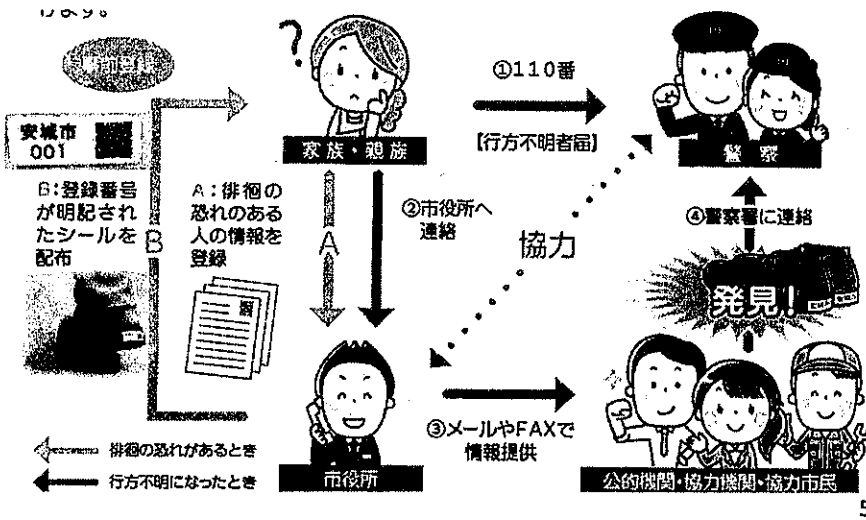
3

新オレンジプラン 7つの柱	安城市の取り組み・資源等
5 認知症を含む高齢者に優しい地域づくりの推進	<ul style="list-style-type: none"> ●地域ケア推進会議(月1回) ●地域ケア地区会議(各地区) ●ネットワーク会議(各地区) ●見つかるつながるネットワーク ●認知症高齢者捜索声かけ模擬訓練
6 認知症の予防法、診断法、治療法、リハビリテーションモデル、介護モデル等の研究開発及び成果の普及の推進	
7 認知症の人やその家族の視点の重視	全事業において共通

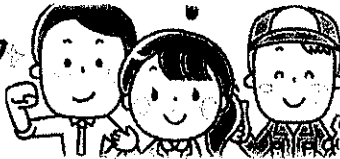
4

見つかるつながるネットワーク(概要)

認知症高齢者等が行方不明になった場合、より多くの人々の協力で安全に早く見つけるためのネットワークです。




見つかるつながるネットワーク 地域のみなさんができること



1、安心安全メールの登録

《登録方法》
 下記のURLにアクセスまたはQRコードを読み取ってください。
 表示されるアドレスに空メールを送信するとリンク先が明記されたメールが送られてくるので登録を行って下さい。
 ●URL=<http://www.a-ansin.jp/>
 安城市ホームページ[望遠郷]にもリンクがあります。



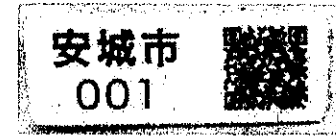
QRコード

受信者として登録すると、行方不明高齢者情報メールが届くようになります。安全・安心メールは、他にも不審者情報や身近な犯罪情報等を配信しており、7000人以上の方が登録しています。

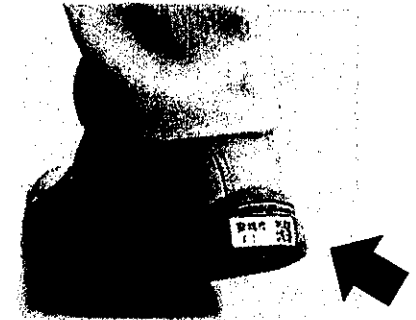
地域で見守る支援者として、
安心安全メールの登録をしていただけませんか？

見つかるつながるネットワーク(概要)

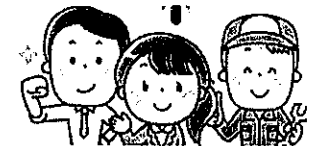
事前登録をした家族・親族へお渡しする、登録番号が記載されたシール。その方の靴やカバン、自転車などに貼っていただきます。



事前登録者 98人
(平成29年11月30日現在)



見つかるつながるネットワーク 地域のみなさんができること



2、徘徊などのおそれのある人がいたら

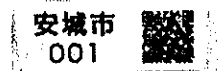
家族・親族に、見つかるつながるネットワークの事前登録をすすめてみてください。

市役所もしくは地域包括支援センターで登録ができます。本人の写真を持参してください。



3、行方不明高齢者と思われる人を見かけたら

110番をし、市役所または地域包括支援センターにご連絡ください。登録番号シールを貼っていたら、その旨もお伝えください



GPSの貸出(介護者支援)

徘徊高齢者介護のためのGPSをお貸しします。



持ち歩くカバンに入れておいたり、
自転車ですいつも出かける方なら
サドルの裏にくっつけたり...

貸出人数 20人
(平成29年11月30日現在)

9

GPSの貸出(介護者支援)

「位置情報サービス」で現在の居場所を確認

PC・携帯電話から専用HPにアクセスすると、現在位置を表示
します。セコムに電話し、現在位置に誘導してもらうことも可能。



必要に応じて、セコムに現場急行を要請することができます。

1時間10,800円。

発見後、タクシーや救急車の手配も可能。



10

GPSの貸出(介護者支援)

対象者 在宅で徘徊高齢者を介護している安城市民

費用負担 貸出・位置情報の提供は無料。
現場急行料は1時間につき10,800円

手続き

対象者(介護者)が、市高齢福祉課にて申請してください。

申請書は、本人自署であれば印鑑は不要です。

また、現場急行料が発生した場合のため、引き落とし口座番号が必要です。

※申請後に、GPS受け取りのため再度窓口に来ていただく
必要があります。

認知症サポーター養成講座(無料講師派遣)

認知症を正しく理解し、地域で見守ることができる、支援
することができる人(認知症サポーター)を、地域に増やしてい
まちづくりを目的とした講座

累計 9,933人受講
(平成29年11月1日現在)



認知症サポーターステップアップ講座

認知症サポーターの上級者、地域で活動できる人を養成す
ることを目的に開催

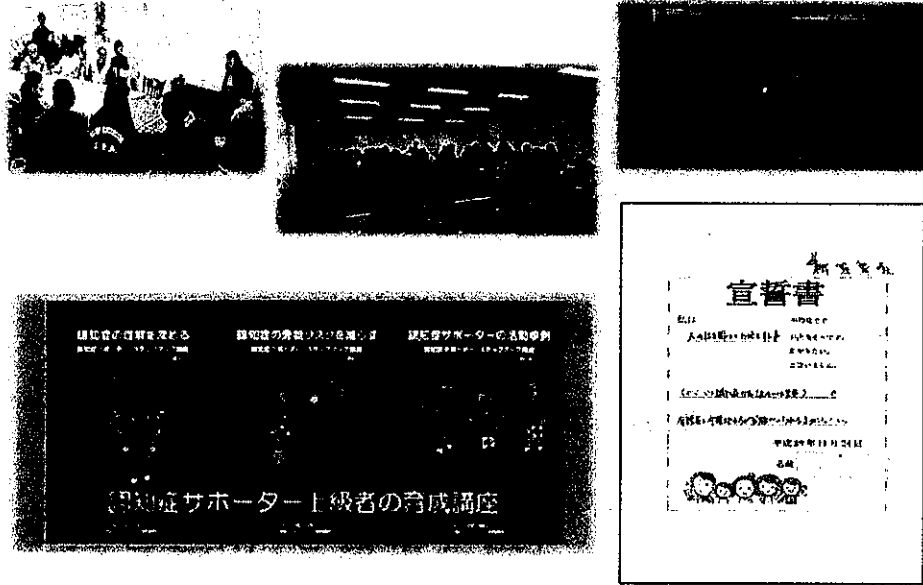
<平成29年度>

認知症や地域活動についての講義、認知症カフェの見学

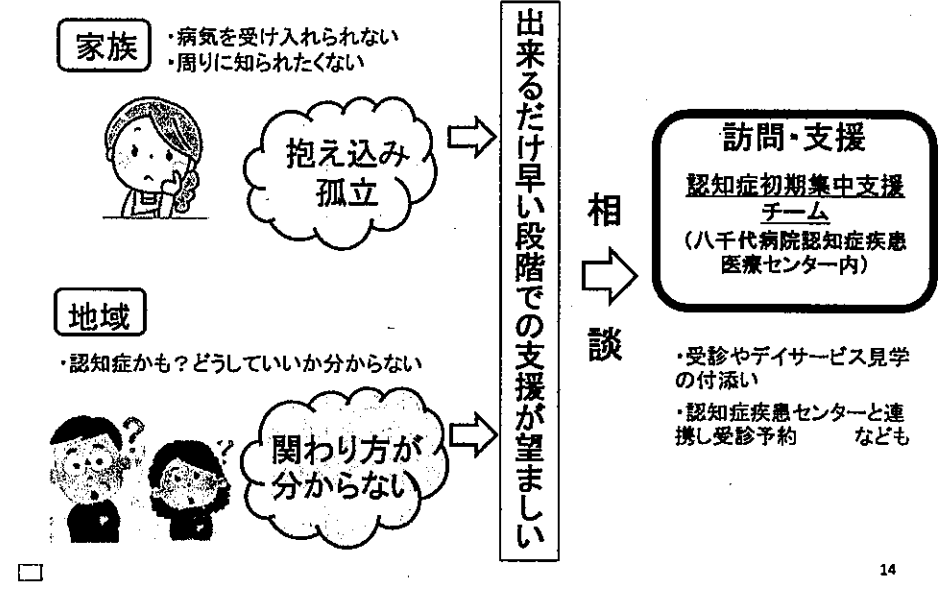


12

認知症サポーターステップアップ講座



安城市認知症初期集中支援チーム



安城市認知症初期集中支援チーム

訪問対象は安城市在住で認知症の症状でお困りの40歳以上の方で

- 診断・治療を受けていない人
- 拒否が強く受診ができない人
- 症状が強く対応ができない人
- 介護サービスが利用できない人

上記の症状でお困りの方など、どなたでもお気軽にご相談ください。

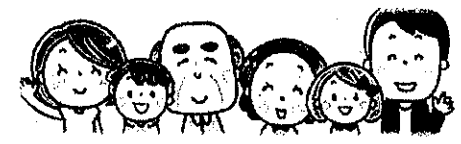


● 問い合わせ・相談先 ●

八千代病院内 愛知県認知症疾患医療センター
安城市認知症初期集中支援チーム
TEL.0566-97-7900
 問い合わせ時間(日曜日、祝日、第1・3土曜日、年末年始は休業)
 月～金曜日/8:30～17:00 第2・4・5土曜日/8:30～13:00

安城市認知症初期集中支援チームの利用効果

- ・ 本人、家族と継続的に関わる事で、専門医やかかりつけ医への受診ができ、適切な治療を開始する事ができた。
- ・ 介護サービスの利用を拒否していた場合にも、デイサービス、ショートステイなどの見学に同行し、介護サービスに繋げる事ができた。
- ・ 関係機関(施設・包括等)と情報共有ができ、円滑に介護サービス利用に繋がった。
- ・ 介護相談などにより、家族の精神的負担の軽減に繋がった。



認知症カフェ

- 認知症になっても、気軽にふらっと立ち寄って、ほっと安心できる場所。
- 仲間ができ、役割を持てる場所。
- 家族同士が 不安や悩みを打ち明けることができ安らげる場所。
- 認知症の人・家族・友人・専門職・地域の人とともに認知症を学べ、情報交換できる場所。

体操、歌など楽しい催しを毎回ご用意！
運営ボランティアに興味がある方も
お声かけください♪

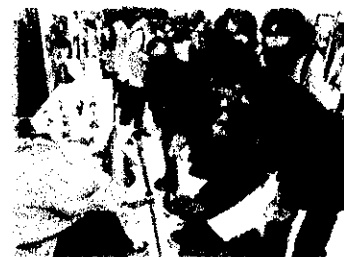


□ 17

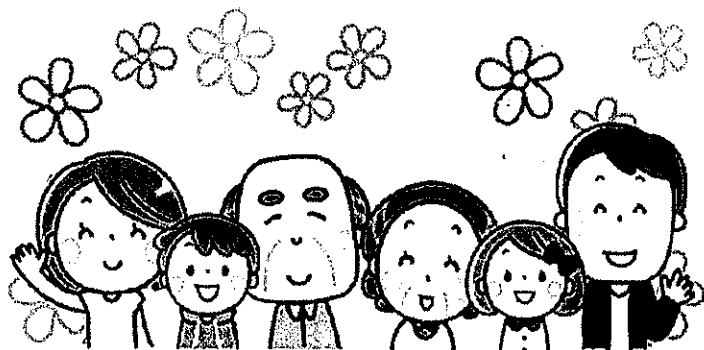
認知症高齢者捜索・声かけ模擬訓練

認知症の方への対応に関する啓発と徘徊高齢者の捜索、声かけをする体験を通じ、地域の支援力向上を図ることを目的に、各中学校区で実施しています。

認知症高齢者（職員が演じます）に
声かけする体験をしてみませんか♪
すてきな景品も用意しております



□ 18



19

1. 計画策定の趣旨

- (1) 平成37年(2025年)には、「団塊の世代」が後期高齢者となり、介護や生活支援を必要とする人の数が大幅に増加する。
- (2) サービス利用者の増加に伴い、サービスの費用も急増する。
- (3) 制度の持続性の維持と高齢者が自立した日常生活を営むことができるよう支援し、要介護状態等になることの予防又は要介護状態等の軽減や悪化の防止を推進することが必要である。
- (4) 「医療」「介護」「予防」「住まい」「生活支援」が一体的に提供され、地域住民の見守りなどの活動を専門職や市等が連携してサポートする「地域包括ケアシステム」を更に推進する必要がある。
- (5) 本計画は、基本理念に基づき高齢者福祉と介護保険事業について、基本目標や重点項目を定め、計画の目標を実現するため、地域の実情に合ったきめ細かな施策の取組みを示したもの。

2. 計画の位置付け

老人福祉法の規定に基づく「高齢者福祉計画」及び介護保険法の規定に基づく「介護保険事業計画」を合わせて「あんジョイプラン」と位置付け

3. 計画期間

高齢者福祉計画・・・平成30年度から平成35年度までの6か年計画

介護保険事業計画・・・平成30年度から平成32年度までの3か年計画

4. 計画の策定体制

- (1) 介護保険事業の進捗管理等を行っている介護保険・地域包括支援センター運営協議会を母体とする策定委員会を設置
- (2) 計画策定に関係する庁内各課、社会福祉協議会、シルバー人材センターなどで構成する幹事会や作業部会を設置
- (3) 地域ケア推進会議の委員、市民代表によるテーマごとに意見を聴取する懇話会(ティーミーティング)(7テーマ8回開催)

5. 計画の基本理念

市民一人ひとりが生活の豊かさとともに幸せを実感できる
「健幸都市」をめざすと同時に、活力ある高齢社会の実現に向け

市民が自助努力していく観点から「生きがい」

市民・地域が共助する社会の構築に向け「ふれあい」

行政が公助のシステムを責任を持って構築する「安心」

基本理念

～健康で生きがい・ふれあい・安心を育むまち～

6. 計画の基本目標と体系

3つの基本目標、17施策、82事業、介護保険事業計画で構成

(1) 介護保険サービスの安定と充実・・・5施策・・・11事業

(2) 介護予防・生活支援施策の推進・・・6施策・・・28事業

(3) 高齢者福祉の推進・・・・・・・・・・6施策・・・43事業

7. 重点項目

(1) 安城市版地域包括ケアシステムの推進

- ・地域ケア会議の機能充実（施策提言）
- ・地域共生社会の実現の準備

(2) 多様な介護予防・日常生活支援の推進

- ・総合事業の推進
- ・要支援の人が参加できる地域活動の充実
- ・生活支援の全市的な取組みの創出を図る体制

(3) 切れ目のない在宅医療と介護の提供体制の構築

- ・在宅医療サポートセンターの市事業化
- ・在宅医療の市民へのPR

(4) 認知症高齢者に対する支援

- ・今計画期間中に新たに開始された施策の検証・充実
- ・認知症サポーター養成講座の推進（企業・学校への働きかけ）
- ・認知症サポーターの一步進んだ取組みへの育成講座（地域での認知症支援の担い手育成）

5

8. 今後の予定

- (1) 平成29年12月11日(月)～平成30年1月9日(火)
パブリックコメント制度による意見募集実施
- (2) 平成30年1月19日(金) 幹事会・作業部会
- (3) 平成30年2月 1日(木) 策定委員会
- (4) 平成30年3月末 計画書の公表（安城市「望遠郷」）

6

9. 施設整備計画について

本市の実情に応じ、施設サービス・地域密着型サービスの公募による整備を推進します。

- (1) 介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム） 1か所
- (2) 認知症対応型生活介護
（認知症高齢者グループホーム） 2か所
- (3) 地域密着型介護老人福祉施設
（地域密着型特別養護老人ホーム） 1か所
- (4) 地域密着型特定施設 1か所

7

10. 介護保険料について

<標準給付費見込額>

(千円)

区分	平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成37年度
標準給付費見込額	9,035,930	9,381,609	9,774,645	11,567,497

<第1号被保険者の保険料の基準額>

区 分	平成27～29年度	平成30～32年度	<参考> 平成37年度
算定上の保険料基準額（月額）	4,923円	5,782円	6,841円
介護給付費準備基金取崩し影響額	123円	182円	0円
保険料基準額（月額）	4,800円	5,600円	6,841円

保険料基準額は、介護報酬の改定率を踏まえ、変更することがあります。

8